

令和 8 年度 舗装施工管理技術者資格試験

2 級 応 用 試 験

試 験 問 題

試験開始前に次の注意をよく読んで下さい。

〔注 意〕

- ① 合図があるまで、次ページ以降を開いてはいけません。
- ② 試験は、この試験問題と別紙解答用紙を使って下さい。
- ③ 解答用紙は、A 3 サイズですが A 4 サイズに折って配布します。
- ④ 解答用紙を A 3 サイズに広げ、左上の欄に受験地、受験番号、氏名を必ず記入して下さい。
- ⑤ 試験問題には必須問題と選択問題があります。
- ⑥ 問 1 は必須問題です。
- ⑦ 問 2 から問 5 までは選択問題です。このうち問題を 3 つ選択して、当該問の＜解答欄＞の右にある口に✓を記入したうえ、解答して下さい。
- ⑧ 解答は、解答用紙の所定の解答欄に記入して下さい。
- ⑨ 解答を訂正する場合は、消しゴムで丁寧に消して訂正して下さい。
- ⑩ この試験問題および解答用紙の余白を計算などに使用しても、差支えありません。
- ⑪ 退席の際に、この試験問題および解答用紙は回収します。持ち帰りは厳禁です。
- ⑫ 試験問題では、「アスファルト・コンクリート舗装」を「アスファルト舗装」「セメント・コンクリート舗装」を「コンクリート舗装」としています。

問 1 は必須問題です。

問 1. あなたが経験した舗装工事のうちから 1 つを選び、その工事について下記の問に答えなさい。

- (1) 舗装工事名を解答欄に記入しなさい。（例：県道〇〇線〇〇舗装工事）
- (2) 工事内容（工事の発注者、工期、主な工種、施工量）を解答欄に記入しなさい。
- (3) 工事現場における施工管理上のあなたの立場を解答欄に記入しなさい。
- (4) その舗装工事の施工に当たって、①留意した施工管理上の課題、②現場で実施した対策をそれぞれ解答欄に収まるように簡潔に記述しなさい。

問 2 から問 5 は選択問題です。このうち問題を 3 つ選択して解答しなさい。

問 2. 舗装の設計に関する次の文章の①～⑤に当てはまる適当な語句や数値を、下記の〔語句または数値〕から選び、解答欄に記入しなさい。

〔語句または数値〕

- ① 騒音低減技術 中温化技術 遮熱技術
- ② 3 4 5
- ③ 疲労破壊輪数 塑性変形輪数 平坦性
- ④ 排水抑制 凍上抑制 凍結抑制
- ⑤ 構造設計 土圧設計 防水設計

- (1) アスファルト舗装工事における CO₂ 排出抑制が期待できる技術の 1 つとして、① がある。
- (2) 区間の CBR が 3.5 の場合、設計 CBR は ② である。
- (3) ③ は、表層の温度を 60℃ とし、路面に 49 kN の輪荷重を繰り返し加えた場合に当該舗装路面が下方に 1 mm 変位するまでに要する回数として定める。
- (4) 路床土の凍結融解の影響による破損を防ぐために設ける層のことを ④ 層と呼ぶ。
- (5) 舗装の修繕設計には、新設時の舗装の設計と同様に路面設計と ⑤ がある。

問 2 から問 5 は選択問題です。このうち問題を 3 つ選択して解答しなさい。

問 3. 舗装の材料に関する次の文章の①～⑤に当てはまる適切な語句や数値を、下記の「語句または数値」から選び、解答欄に記入しなさい。

〔語句または数値〕

- ① セメント 石灰 石油アスファルト乳剤
- ② 20 50 80
- ③ PK-3 PK-4 PK-5
- ④ 耐摩耗性 耐流動性 すべり抵抗性
- ⑤ 再生加熱アスファルト混合物 再生建設汚泥 再生建設発生土

- (1) 構築路床に用いる安定材で、一般に砂質土に対しては が適している。
- (2) 上層路盤に使用する粒度調整碎石の修正 CBR は、 以上である。
- (3) 石油アスファルト乳剤のうちタックコートでは一般に を使用する。
- (4) 積雪寒冷地域の表層には、一般に が高い F 付きのアスファルト混合物を使用する。
- (5) 再生舗装材料には、再生路盤材料と がある。

問 2 から問 5 は選択問題です。このうち問題を 3 つ選択して解答しなさい。

問 4. 舗装の施工に関する次の文章の①～⑤に当てはまる適当な語句や数値を、下記の「語句または数値」から選び、解答欄に記入しなさい。

「語句または数値」

① 20 40 60

② 劣化 乳化 軟化

③ 路面のすべり抵抗値 塑性変形輪数 疲労破壊輪数

④ 90 110 160

⑤ コンクリートフィニッシャ レベリングフィニッシャ タイヤローラ

- (1) 構築路床の置換え工法および凍上抑制層の一層の敷きならし厚さは、一般に仕上がり厚さで cm 以下を目安とする。
- (2) 加熱アスファルト安定処理路盤材料は、基層および表層用混合物に比べてアスファルト量が少ないため、あまり混合時間を長くすると が進むので注意しなければならない。
- (3) 半たわみ性舗装で、セメントミルクが舗装表面に残っていると、 を低下させることがあるので、ゴムレーキ等で除去する。
- (4) ストレートアスファルトを用いた加熱アスファルト混合物の施工において、アスファルトフィニッシャによる敷きならし時の混合物温度は、一般に、 ℃ を下回らないようにする。
- (5) コンクリート舗装のセットフォーム工法における締固めには、 が用いられる。

問 2 から問 5 は選択問題です。このうち問題を 3 つ選択して解答しなさい。

問 5. 舗装の補修に関する次の文章の①～⑤に当てはまる適当な語句を、下記の「語句」から選び、解答欄に記入しなさい。

「語句」

- ① 構造 予防 応急
- ② FWD DF テスタ CT メータ
- ③ ポリッシング 角欠け スケーリング
- ④ 薄層オーバーレイ チップシール 切削オーバーレイ
- ⑤ コルゲーション 寄り ポリッシング

- (1) アスファルト舗装の補修工法を大別すると、 的対策を目的としたものと、路面の機能的対策を目的としたものになる。
- (2) アスファルト舗装の構造調査は、舗装内部や舗装構造を詳細に把握するもので、 によるたわみ量測定や切り取りコアの採取、開削調査などによりおこなう。
- (3) コンクリート舗装の目地部に発生する特徴的な損傷としては、目地材のはみ出しや飛散、 がある。
- (4) 工法は、既設舗装の上に厚さ 3 cm 未満の加熱アスファルト混合物を舗設する工法である。
- (5) は、道路縦断方向に比較的短い波長で連続的に発生する波状の凹凸であり、通行車両が頻繁に制動や停止を繰り返す場所に生じやすい。

〔以下余白〕

この欄は必ず記入すること

[illegible]

問1は必須問題です。

＜問 1 解答欄＞

(1)	舗装工事名		
(2)	工 事 内 容	発 注 者	
		工 期	
		主な工種	
		施 工 量	
(3)	立 場		

[illegible][illegible]

5

10

15

20

問 2 から問 5 は選択問題です。このうち問題を 3 つ選択して解答しなさい。

＜問 2 解答欄＞

10

←問 2 を選択した方は✓を入れる

(1)	①	
(2)	②	
(3)	③	
(4)	④	
(5)	⑤	

＜問 3 解答欄＞

←問 3 を選択した方は✓を入れる

(1)	①	
(2)	②	
(3)	③	
(4)	④	
(5)	⑤	

＜問 4 解答欄＞



←問 4 を選択した方は✓を入れる

(1)	①	
(2)	②	
(3)	③	
(4)	④	
(5)	⑤	

<問 5 解答欄>

←問 5 を選択した方は✓を入れる

(1)	①	
(2)	②	
(3)	③	
(4)	④	
(5)	⑤	